

雨飾山・ガイドツアー

日 時：2019(平成 31)3 月 20 日(水)

参加者：宮崎、内田、ガイド、その他客 1 名 計 4 名

概 略：

早朝に、下山地の新潟県側にあるシーサイドコミュニケーションズバレースキー場付近でガイドと合流し、除雪終了地道路にガイド車デポ。

スター地点の小谷温泉へ宮崎車で向かい、6時半頃に温泉をスタート。歩き始めの雪面は固く、クトーを付けない急斜面のシール登高に苦勞する。夏道をショートカットしながら、休憩無しで大海川を奥の大倉沢・黒沢・荒菅沢との出合へ進む。

ここから荒菅沢左股へ入り、フトン菱の荒々しい岩峰を望みながら約 150m 程登り右手の尾根に取り付く。笹平までは、急登のシール登高を強いられ、体力の限界に達した頃に県境尾根に上り上げる。笹平まで来ると頂上は目の前だが、強風と固い雪面のため登頂を断念。

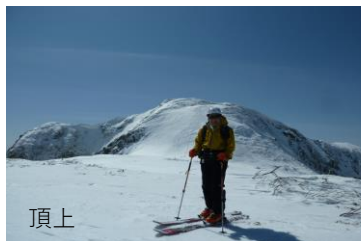


荒菅沢

少し休憩の後、滑降準備。未体験ゾーンを前に全身に緊張感が走る。いよいよ楽しみの雨飾温泉へ高度差約 1000m の大滑降のスタート。

はじめは比較的傾斜の緩やかな斜面だったが、滑っていくにつれて傾斜が増すロケーションが素晴らしい新雪のオープンバーン。「ウォー！」自然に雄叫びが出る。しかし、私の技術では、スピードコントロールに苦戦を強いられる。

ガイドさんが先行で、雨飾温泉までは、急な薬師尾根の側面斜面を滑降して行く。高度を落とすにつれ、雪は湿度を増し重くなる。



頂上



オープンバーン



薬師尾根側面斜面

温泉が近くなる林間滑降では雪面を切る度に面発生的にアンモナイト状ブロック雪崩が多く発生するので、下で待つ人に大変気を遣う。

そうこうする内に温泉に到着。深い雪の中に宿舎の赤い屋根が出ている。よく見ると、宿舎から少し離れた所に、周囲が 3 m 程の雪壁に囲まれて湯気が少し出ている露天風呂がある。ガイドさんがスコップで足場を作ってくれたので、露天風呂へ下りる。露天風呂は入浴できるような状態じゃないので見学だけ。

温泉からは長い林道を滑りながら、除雪が終了する駒ヶ岳登山道入り口の標識がある所まで下山する。

体力的にきつく、雪質が私のスキー技術では苦勞する場面が多かったが、『これぞ山スキー』の充実感に満たされた山行であった。雨飾山ありがとう!!



雨飾山北面